

ダーナ

YEAR BOOK

浄土宗平和協会会報 VOL.

Dana

24

「ダーナ」とはサンスクリット語で、「布施」の意。

ダーナ●第24号
発行日●平成26年6月25日
編集／発行●浄土宗平和協会（JPA）
発行人●荻野順雄

Jodo Shu Peace Association

Special Interview

「寂」に込めた 平和の願い

三橋國民さんに聞く



三橋國民さん

今回のダーナでは浄土宗平和賞のレリーフを作成していただいた造形作家（日展参与）三橋國民さん（94）に平和についてうかがった。三橋さんは、戦中ニューギニア戦線で九死に一生を得た経験から、平和をテーマの数多くの作品を残している。

インタビューは浄土宗平和協会事務局・杉浦靖俊。



—三橋さんのご著書『鳥の詩』を拝読させていただきましたが、壮絶な体験を書かれてて、改めて戦争の恐ろしさを実感しました。

私は大正9年、1920年の生まれです。今93歳です。大正9年生まれあたりは、ちょうど太平洋戦争時に、一番兵隊に持って行かれた世代で、同級生はことごとく亡くなっています。ちょうど、学徒動員にも駆り出された頃で、男はみな兵隊という時代でした。太平洋戦争のためのうまれてきた世代ではないか、と思うほどです。

昭和16年だったかな、はじめて出征したのは。でも一度病気で帰ってきて

いるんです。

せっかく戻ったのだからと、猛勉強をして大学の試験を受けた。いよいよ合格が決まって、勉強を勤しもうと思った矢先、また招集がきた。いわゆる学徒動員というやつですね。当時一緒に出征した連中の消息を調べると、ほとんどが亡くなっている。飛行機で突っ込んだりとか。ニューギニアへ共に出征した150人で、生きて帰ったものがわずかでしたね。今はもう生きてるのは私だけですけれども。私が

大正9年、10年、11年ぐらいに生まれた者は、太平洋戦争というたいへんな時代のまっただ中を生き、ことごとく討ち死にしているのです。

—ご著書に、戦地での体験が具体的に書かれています。戦後生まれの者が学校で習い、あるいはメディアで見聞きする戦場のイメージ以上に、悲惨で、暗い闇のようなものを感じたのですが。

私たちは軍隊で言えば本当に下っ端でしたから、ひどい目に遭いまし

た。お国のためだと、国全体が戦争に向かっていましたから、戦わなければだめだという気持ちはありました。

ただ、いざ軍隊に入ると、本当にお国のために戦っているのかと思う有様でした。戦後しばらくは、おそらく誰もふれなかったし、ふれられなかったと思うのですが、職業軍人の振る舞いには、ふざけるなど思うことが多々ありました。

たとえば、部隊を率いて、戦死者が出ると喜ぶ。なぜならばそれが自分の功績になるからです。部隊全員が戦死し、隊長だけが生き残ったとしたら、金鷄勲章ものです。すると将来は約束されたようなものです。要は、彼らは立身出世のために戦っていたのです。すべての将校がそうだとは言いませんが、戦地ではそう感じる事がよくありました。

百田尚樹という方の『永遠の0』という本がベストセラーになり、映画化もされ、大変話題になりました。たいへん当時の戦争の様子が描けていると感じました。今、私も自分の視点で

当時のことを書いてみようと考えています。大義名分はあったものの、実際の現場がどうだったのかを実体験を元に表現したいと思っています。

—戦争を知らない世代に、その実態を伝えてくださる三橋さんのお役目は尊いと思います。戦死者は230万人とも言われていますが、6割から7割は餓死や病死だと言われていますよね。これは意外と知られてないことです。

最前線なんてひどいものでした。もはや人間のやることではない。野生の動物と同じです。そういう中でもてあそばれた私たちという見方もできるわけです。

当時、大本営を牛耳っていたのは

30代そこそこの青年将校です。そのような若い人たちが、300万とも、400万人とも言われた日本軍の兵隊を勝手に動かしていた。私が行ったニューギニアなんて、大本営では「ニューギニアってどこだ」というような程度だったらしい。そんな状態だから、装備も食料も満足できるものではなかった。餓死、病死が多いのも当然のことだったのでしょう。

—南の島のジャングルというと、現代人は木の実がたわわに実って、食べ物が豊富だとイメージしがちですが、先生の本を読ませていただくと、ニューギニアはまったく違うのですね。

真夏のコンクリートの上にいると思

えばいい。講演でも「先生は南方のフルーツはお嫌いだったのですか」なんて聞かれる。冗談じゃない。それはゴムやサイパンの話で、赤道直下の国での生活は厳しいものです。ニューギニアなんて、国土が日本の2倍ほどあるのに人口は100万人程度しかいない。しかも平地が少ない。そのことからわかるように、生活するのにたいへん厳しい地域なのです。そんな場所に、戦争のために前途有望な若者をたくさん送り込んで、多くの尊い命を犠牲にした。今じゃ自衛隊員が一人でも死んだら大騒ぎなのにね。

私が出た部隊は全体で150人ほどでしたが、一日平均3人ほど死んでいく。あっという間にいなくなっていました。40名ほどが戦死でした。

ニューギニアでの戦いは、主に対空戦闘でした。1年半ぐらいで、130回ほどの戦闘がありました。だいたい3日に一度程度の頻度でしょうか。敵機が飛来すると、夕立のように弾が飛んでくる。当たらないことの方が不思議なぐらいでした。どこから弾が飛んでくるかわからない。頭が上げられないほどだった。こちらは闇雲に対空射撃を打つしかない。それでもたまに敵機にあたったのですけれど。

いろいろなことがめまぐるしくあって、一日が本当に長く感じました。ただ、何が苦しかったって、やはり食べ物と水です。何しろ食べるものか全くない。木の根を食べたという戦争体験を聞かれたことがある人も多いと思いますが、本当のことです。それ以上、全うな飲み水にありつけないことは辛かった。谷川の水を飲むと、もうとんでもないことでした。80kgの立派な体格の人が、あっという間に体重が半分ほどになっちゃう。信じられないですよ。

— 美術家を志されたのは戦争から帰ってこられてからですか。



三橋國民さん制作の浄土宗平和賞レリーフ「寂」

生き延びた私の使命は、命ある限り戦没した僚友の「想い」を伝えてやることだろうと思ったのです。彼らへの「鎮魂」、そして平和への「祈念」を何らかの方法で伝えていかなければならないと思った。というより、何かを創作していくと、不思議と鎮魂になっていってしまうということでしょうか。

一般的に美術家というのは、創作活動を続けていく中で、自分なりの価値観を熟成させ、その時々に応じてテーマを見だしていく者なのですが、私の場合はテーマは自ずと与えられていたのです。

それでも長く創作を続けていくと、野心も芽生えてくる。たとえば、百貨店でよく作家の展覧会がありますが、私にもかつて多くの依頼があった。そ

の目的は販売です。もちろん売ればうれしいし、世に名前が知れることはある種の評価にもなる。ただ、展覧会を開く場合、たいてい展示する作品の内、3割程度は売れる作品を制作してくれと言われる。俗に「売り絵」と言うのですが、テーマ云々よりも、一般の人が見ても理解しやすい作品のことをいいます。それらの作品は売れるのですが、自分にとってはくだらないと思う作品です。それらが世にたくさん出てしまうことは、やはり忸怩たる思いがあります。

そんなとき、高山辰雄という日本画の大家にいろいろとご示唆をいただきました。

高山先生は、世田谷区経堂においでだったので、よく訪ねて伺いました。当時、私は芸術院会員になって、文化勲章でももらえればいいなあと、そういう野心がありました。ちょうど高山先生が文化勲章を受章されたとき、お祝いに何うと、

「私が文化勲章をもらっておきながら勝手なことを言うけれど、こんな賞をおっかけていたら人間駄目になってしまう。こんなものは芸術家がもらうものではない。君は作品本位で生きていくべきだ」と。

なるほどその通りだと、感動しました。作家は作品を残してこそ、と足下を見つめ直す契機を与えてくださいました。

— 浄土宗平和賞の額装彫金レリーフ「寂」のことをお聞きしたいのですが、中国の古い懸仏をモチーフにして創作されたとか。

古い仏像にずっと興味があって、一つとして同じものはありません。それぞれに深い表情があって、宗教を抜きにして、芸術作品としての完成度も高いと思います。

私の作品にも、仏像を表現したものがたくさんありますが、それぞれがモチーフはありながらも自分自身の創作作品であると自負しています。「寂」は彫金で制作していますが、立体であるが故に光のあたり方で様々な表情が見て取れると思います。そこに何を感じるのかは、受賞者の方にお任せしたいと思います。

ただ、美術家である以上、作品には自信の思想を込めることが大切だと思っています。思想性があるかないか、それがプロとアマチュアの差です。思想がなければ絵とは言えない、美術ではない。単なる模様、技巧に過ぎないのです。

「寂」は、浄土宗平和賞の趣旨に賛同し、私なりの思いを込めています。その思いが、平和賞の受賞者に届けばと願います。

— 本日はありがとうございました。



三橋さんが描いた僚友の自決



三橋國民 (みつはし・くにたみ)

大正9年、東京・町田市生まれ。造形美術家。昭和16年に応召し、昭和21年西部ニューギニアで重傷を負いながらも、分隊長40人中ただ二人の生き残り兵として生還。その体験記『鳥の詩』（日本放送出版協会刊）はドラマ化されベストセラーとなる。戦後、東京学芸大学教授・海野建夫氏に師事、工芸美術、彫金、鋳造、石造などを学ぶ。現在、社団法人・光風会名誉会員、社団法人・日展参与などを務める。これまでに日展内閣総理大臣賞、菊花賞、光風会辻永記念賞などを受賞。

第6回浄土宗平和賞

浜〇かふえ（福島教区浜通り組青年会）が受賞 大震災被災者にまごころのプレゼント

浄土宗平和協会平成26年度総会は5月20日、宗務庁（東京）第一会議室で行われ、その席上、「第6回浄土宗平和賞」の授賞式が行われた。今回受賞したのは、2011・3・11東日本大震災で、自らも被災しながらも、「浜〇かふえ」と題して、仮設住宅などで巡回カフェを実施している福島教区浜通り組青年会（馬目一浩会長）。同青年会は、3・11以降、毎週水曜日に巡回カフェを開催。活動は平成23年度28回、24年度47回、25年度41回（約50会場）に及び、カフェにあわせて落語会、音楽会など各種イベントを開催し、避難住民の憩いの場、として、また住民の不安や様々な生活上の問題を傾聴する場となっている。浄平協は決定理由として「原発事故はその収束にかなりの時間を要することが見込まれるなか、今後とも被災住民のための継続的な活動を期待して、理事の総意として平和賞に決定した」としている。プレゼンターの荻野順雄浄平協理事長より、賞状、副賞の彫金レリーフ（日展参与三橋國民氏制作）、副賞50万円の目録を授与された。総会では、記念講演とし



荻野理事長より表彰される浜〇かふえ代表・馬目一浩上人

て、浄土宗総合研究所の袖山栄輝上人が講演した。

浄土宗平和賞は、社会参加する寺院、住職、団体を顕彰しようと、平成21年より設けられた。選考は、4月に行われた浄平協理事会で、推薦された7件（団体、個人）より、選抜された。

浄土宗平和賞受賞によせて

浜〇かふえ代表 馬目一浩

この度は、このような名誉な賞を賜り心より御礼申し上げます。「浜〇かふえ」は、浄土宗福島教区浜通り組青年会有志により、毎週水曜日を基本としていわき市内の仮設住宅やみなし仮設住宅（既存の住居施設を仮設住宅として使用）の集会所や野外をお借りしてお茶やコーヒー、軽食などを飲食しながら住民の方のお話を聞いたり、住民同士のコミュニケーションの場を提供しています。時には県外の方からの協力も頂き、落語会や歌謡ショー、物

作りなどのイベントも行っていきます。「浜〇かふえ」の活動は平成二十三年九月より、約二年半という短い期間ですが、スタッフは、かふえ開催日には自分のお寺の都合をそれぞれにつけながらの活動を続け、延べ150回以上の開催を行ってきました。このことが評価されての受賞は、これからも続いていくこの活動の大きな励みとなります。またこれまで参加して頂いた県内外の方達の協力のおかげでもあります。

しかし、この2年半は決して順調と

いえることばかりではありませんでした。「ボランティアとは何か」ということを巡りスタッフ間で激しく議論したこともありましたが、訪問した仮設住宅での対話の中での些細な一言で、励ますどころか、傷つけてしまったのではないかと反省することや、お



受賞した浜〇かふえのみなさん

米などの配布物が、逆に住民間のトラブルを生んでしまうこともありました。震災支援ボランティアの難しさを思い知らされた2年半だったような気がします。

更に、仮設住宅では、現在日本が抱えている独居老人、単身家族による貧困児童、家庭内暴力、家庭崩壊など家族間の諸問題が凝縮して表れます。こういった家族間の問題を直視しながらも積極的に介入できないジレンマもあります。

しかし、そういった様々な失敗や問題を抱えながらもここまで続けることができた原動力は、震災直後に行った津波による流出家財の片付けや避難所への炊き出しなどで、被災地の惨状と被災者の苦しみを直にその目で見、体で感じたことと、訪問先の方から毎回頂く「ありがとう」の温かいお言葉ではなかったかと思えます。

現在、浜〇かふえの活動が行われているいわき市では、災害公営住宅の建設が急ピッチで進んでいます。そして完成した災害公営住宅へは順次入居が始まっています。

最近ではかふえに訪問した先で災

害公営住宅への引っ越しが決まったことをお話いただくことがあります。転居によって会えなくなることへの寂しさはありますが、笑顔で今までのお礼とお別れをする被災者の姿を見ることはこれまでの活動が報われる時でもあります。

しかし、これはいわき市のみのことで、現在いわき市に避難している3万人以上とも言われる原発事故避難者は、自治体の方針は決まっても放射線への不安や不信感から先行きは不透明なままで、避難生活がいつ終わるかも見通せない現在の状況は、支援を受ける側にも支援する側にも大きなストレスとなり、避難先の地元住民との軋轢も顕著になっています。車にいたずらをされたり、心無い言葉を受けることもあるそうです。

自分が生まれ育った家に帰れない苦しみは、日頃当たり前のように我が家で暮らしている私たちには想像できないものです。昼間に避難地域にある自宅に戻り、自宅周辺の写真を撮って見せて下さる方がいらっしゃいます。



浜〇かふえの活動の様子

庭は背丈ほどもある雑草に覆われ、自宅の中はネズミの糞だらけ、人の出入りが無くなり朽ちていくだけの我が家をただ見ているのはとても辛いとおっしゃられます。それは金銭で解決できるものではありません。

今後も私たちは、浜〇かふえスタッフとして、また一浄土宗僧侶としてこの活動を続けて参ります。被災者に積極的にお念仏のみ教えを説くことはありません（来場して頂く方は浄土宗の檀信徒に限りません）が、阿弥陀仏が常に慈悲の御心で凡夫たる私たちを見守ってくれるように被災者に寄り添い、仮設住宅から笑顔で別れる時まで見守って参ります。

浄土宗平和賞とは？

昨年、改めて「社会参加する仏教」という言葉が提唱されています。本来、宗教的救済すなわち教化と、社会事業の実践は不可分であるといえましょう。

時代の急激な変化が大きな社会矛盾を抱え込むこととなった明治期、貧困の救済をテーマに各宗派・各教団が積極的に慈善事業に取り組み、足尾銅山鉍毒事件や東北地方の大飢饉の災害救済活動にも、宗派を挙げての活動が成果を挙げました。また我が宗に於いては、児童擁護施設の建設や児童教育のほか、

渡辺海旭師の主導のもと、各種の貧困対策事業が開始されています。これらは、後に大きく発展する浄土宗の社会福祉事業の礎となりました。

現代に目を移すと、戦後の高度成長時代を経て、日本の社会は大きく変化を遂げ、共同体や家族の崩壊は数々の社会問題を引き起こしています。このような状況において地縁・血縁を基とした伝統的寺院のあり方に加え、地域コミュニティの再構築、共同体の回復の核となる役割も期待されています。かつて

は貧困の救済が主なテーマであった各社会事業も、現代においてはグローバル化や社会問題の複雑化に伴い、多岐にわたる対応が求められています。

本協会は「共生（ともいき）」の理念を基に、一切の生きとし生けるものの安寧と平和を願う仏教者として、「社会参加する仏教」を推進しています。この度の「浄土宗平和賞」の創設は、各地で積極的に社会活動をなさっているご寺院・教師・寺族等の方々を顕彰すると共に、その活動内容等を広く会員にご紹介することによって、公益に資する未来の寺院のあり方のモデルとなり、格好のケーススタディと成り得ると考えています。

浄土宗平和協会 年次レポート



浄土宗平和協会（JPA）では、浄土宗劈頭宣言にある「愚者の自覚」に立ち、「世界と共生する」ために、平和の問題に取り組み。具体的には皆さまから寄せられる浄財・平和念仏募金によりNGO支援、ブックギフト活動、浄土宗平和賞、スタディーツアーなどの事業を行っております。

会報ダーナでは、昨年度の事業を報告するとともに、平成26年度の運営予定などを報告いたします。

ブックギフト 新たに名古屋でも実施

私費留学生に希望の図書を贈呈する第6回ブック・ギフトは、11月から12月にかけて、東京（大本山増上寺）、名古屋（建中寺＝名古屋市東区）、関西（大本山百万遍知恩寺）の3カ所で行われた。3会場で合計66人の留学生が、嬉しそうに希望図書を受け取った。

ブック・ギフト活動は、浄土宗平和協会（JPA）の主要な活動の一つで、今年から新たに名古屋地区で実施された。東京都、愛知県、関西圏の大学に通学する私費留学生に、日本語でレポートを書けば、一万円以内の希望する図書を受領できる、というもの。

第6回ブック・ギフトin Tokyo／第3回ブック・ギフトin Kansai／第1回ブック・ギフトin Nagoya

○応募総数

東京18人（内1名応募資格外）、関西37人、名古屋12人

○授与式参加人数（当日欠席者には後日贈呈）

東京16人、関西36人、名古屋11人

○応募者国籍

中国14名、韓国2名、台湾1名（以上東京）
 関西）中国26名、韓国3名、台湾1名、インド1名、スリランカ1名、ベトナム2名、モンゴル2名、マレーシア1名（以上関西）
 ネパール3名、中国8名、ドイツ1名（以上名古屋）

○応募者大学別一覧

立教大学5名、首都大学東京2名、東京大学2名、中央大学1名、一橋大学1名、武蔵野大学1名、拓殖大学1名、国士舘大学2名、明治大学1名、駒沢大学1名（以上東京）
 京都大学9名、佛教大学4名、関西大学3名、京都文教大学1名、滋賀医科大学3名、大阪工業大学1名、神戸国際大学1名、大阪大学5名、日本経済大学3

名、同志社大学3名、阪南大学2名、大阪産業大学1名、立命館大学1名（以上関西）
 名古屋大学5名、愛知県立芸術大学4名、愛知県立大学1名、愛知淑徳大学1名、愛知教育大学1名（以上名古屋）

○応募者在籍一覧

大学院9名、大学8名（東京）
 大学院28名、大学8名、研究生1名（関西）
 大学院9名、大学1名、研究生2名（名古屋）

第6回浄土宗平和賞 浜〇カフェに授与

「第6回浄土宗平和賞」の授賞式が5月20日、浄土宗平和協会総会のなか宗務庁（東京）第一会議室で行われ

平成25年 平和念仏募金によるNGO支援実績

団体	プロジェクト名	援助額
1 日本国際ボランティアセンター（JVC）	アフガニスタン・ナンガハル県北東部における住民主体の生活改善事業	¥700,000
2 パレスチナ子どものキャンペーン	シリア避難民の子どもたちの幼稚園への受け入れと栄養改善	¥500,000
3 反差別国際運動（IMADR）	ネパールダリット女性の保健教育プロジェクト	¥500,000
4 ジュマ・ネット	チッタゴン丘陵人権問題解決の丘陵委員会の活動	¥500,000
5 NPO法人ユニ	ラカインプロジェクト	¥200,000
6 国際子ども権利センター	カンボジア人身売買・児童労働防止のための啓発ネットワーク	¥600,000
計		¥3,000,000

た。今回受賞したのは、2011・3・11東日本大震災で、自らも被災しながらも、「浜〇カフェ」と題して、仮設住宅などで巡回カフェを実施している福島教区浜通り組青年会（馬目一浩会長）。同青年会は、3・11以降、毎週水曜日に巡回カフェを開催。活動は平成23年度28回、24年度47回、25年度41回（約50会場）に及び、カフェにあわせて落語会、音楽会など各種イベントを開催し、避難住民の憩いの場、として、また住民の不安や様々な生活上の問題を傾聴する場となっている。

フィリピン大水害に義援金

浄土宗平和協会は浄土宗とともに11月20日未曾有の大洪水に襲われたフィリピンの被災者へ、義援金を贈った。東京都港区六本木のフィリピン大使館で、豊岡謙尔宗務総長、荻野順雄浄土協理理事長、新谷仁災害対策復興事務局局長がおとずれ、アンジェリカ・C. エスカロナ・フィリピン公使に、義援金の目録を贈った。

平成25年度 浄土宗平和協会事業報告

平成25年4月～平成26年3月

平成25年	日	時間	会場
4月25日（金）	第1回理事会	13:30～	京都宗務庁
5月10日（金）	監査会	13:30～	京都宗務庁
5月16日（木）	東京事務局会	16:00～	九品寺
5月17日（金）	平成25年度総会	13:30～	京都宗務庁
5月17日（金）	第5回浄土宗平和賞贈呈式・NGO活動紹介	15:00～	京都宗務庁
5月21日（火）	共生子ども連絡会議	11:00～	京都宗務庁
7月2日（火）	第1回正副理事長会議	10:00～	東京宗務庁
7月	ブック・ギフトin Tokyo in Kansai in Nagoya 応募要項配布会報ダーナVOL.22（年次報告書）発行、会費請求、会員募集		
9月	ブック・ギフトin Tokyo in Kansai in Nagoya 応募受付開始平成25年9月1日～9月30日まで		
11月25日（月）	東京事務局会	16:00～	九品寺
11月30日（土）	第6回ブック・ギフトin Tokyo 授与式	15:00～	大本山増上寺
11月	第6回浄土宗平和賞募集（12月号宗報掲載）フィリピン大水害へ義援金		
12月1日（日）	第3回ブック・ギフトin Kansai 授与式	15:00～	大本山知恩寺
12月6日（金）	共生子ども連絡会議	10:00～	京都宗務庁
12月13日（金）	平成26年度予算折衝	10:00～	東京宗務庁
12月13日（金）	第2回理事会	13:30～	東京宗務庁
12月22日（日）	第1回ブック・ギフトin Nagoya 授与式	14:00～	建中寺
12月	会報ダーナVOL.23発行、平和念仏募金お願い		
平成26年			
1月31日（金）	第6回浄土宗平和賞募集締め切り		

平成25年度 浄土宗平和協会収支決算書

（自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日）

■収入の部

款	項	予算額	決算額
(1)	会費	4,700,000	5,012,000
	①正会員会費	4,600,000	4,890,000
	②賛助会員会費	100,000	122,000
(2)	寄付金	2,100,000	2,430,951
	①平和念仏募金	2,000,000	2,430,951
	②緊急募金	100,000	0
(3)	助成金	1,750,000	1,750,000
	①浄土宗助成金	1,750,000	1,750,000
(4)	雑収入	10,940	4,190
	①雑収入	10,940	4,190
(5)	繰入金	1,479,883	1,779,883
	①前年度繰入金	779,883	779,883
	②基金繰入金	700,000	1,000,000
収入合計		10,040,823	10,977,024

■支出の部

款	項	予算額	決算額
(1)	事業費	7,030,000	7,523,486
	①NGO団体支援金	3,000,000	3,000,000
	②緊急救援資金	100,000	500,000
	③ブック・ギフト費	800,000	829,023
	④平和大会等関連費	550,000	535,580
	⑤会報費	2,300,000	2,323,161
	⑥啓発・普及費	10,000	0
	⑦スタディーツアー関連費	10,000	0
	⑧支部事業助成費	200,000	200,000
	⑨各種団体連帯費	30,000	105,722
	⑩調査研究連帯費	30,000	30,000
(2)	会議費	1,189,000	1,109,482
	①総会費	150,000	111,300
	②理事会費	600,000	575,037
	③正副理事長会費	179,000	90,535
	④事務局会費	260,000	332,610
(3)	事務費	1,010,000	1,047,239
	①事務費	1,000,000	1,047,239
	②旅費	10,000	0
(4)	繰出金	700,000	1,000,000
	①基金繰出	700,000	1,000,000
(5)	予備費	111,823	21,000
	①予備費	111,823	21,000
支出合計		10,040,823	10,701,207

平和基金	決算額
平和基金	17,741,254

浄土宗平和協会 年次レポート



浄土宗平和協会は平成26年、会員数も増え622人（正会員）を超えました。当面、全浄土宗寺院の10%、700人の会員を目指します。また、平和念仏募金によるNGO支援や、ブック・ギフト、浄土宗平和賞も、順調です。ブックギフトは、ことしは新たに福岡市でも出来るよう計画です。国内各NGO団体よりの信頼も厚くなり、またブック・ギフトの留学生に対する浸透も、進んでいるように存じます。

浄土宗の公益団体として、内外ともに認められ、自立した事務局体制を構築するよう努力して参る所存です。本年度もどうぞ、浄平協（JPA）のご支援をよろしくお願い申し上げます。

第7回ブックギフト in Tokyo in Kansai そして in Nagoyaに 第7回浄土宗平和賞を実施します

昨年から、東京、関西、名古屋と3地区で開催されましたブックギフト事業を、本年度は福岡市でも行うよう検討中です。応募者も、東京、関西、名古屋ともに、著名な大学、大学院、研究生など優秀な人材が、応募していただいております。東京では大本山増上寺にて11月30日に、関西では大本山百万遍知恩寺にて12月7日、名古屋では名古屋市建中寺の開催（日時未定）になります。（福岡は日時場所とも未定）

7回目を数える浄土宗平和賞は、宗教マスコミなどにも大きく取り上げられ、優秀な宗内の人材を顕彰することができて、協会一同感謝をしております。本年度も会員様の推薦により、候補を決め、来年3月に決定する予定です。会員様の推薦よろしくお願い申し上げます。

会員加入を呼びかけ、 会の基盤を充実します

平成25年度末で会員数622人（団体）、賛助会員39人（団体）となりました。皆さまのご理解ご協力を感謝いたします。

本年度も、浄土宗保育協会、浄土宗スカウト連盟、浄土宗児童教化連盟と協働してポスター配布を全国の御寺院におこないます。よろしくお願い申し上げます。

今年も平和念仏募金、NGO支援を行います

平成10年度から全浄土宗御寺院のご理解の元、行ってまいります平和念仏募金の呼びかけを今年度もまた12月に行う予定です。

平成26年 平和念仏募金による支援NGO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター（JVC）	アフガニスタン／ナンガハル県北東部における住民主体の生活改善事業	¥700,000
② パレスチナ子どものキャンペーン	シリア／避難民の子どもたちへの栄養改善事業	¥500,000
③ 反差別国際運動（IMADR）	ネパール／ダリット女性の心身健康の意識高揚と法的支援活用プロジェクト	¥500,000
④ ジュマ・ネット	バングラデシュ／チッタゴン丘陵人権問題解決の丘陵委員会の活動	¥500,000
⑤ NPO法人ユニ	バングラデシュ・ラカイプロジェクト	¥200,000
⑥ 国際子ども権利センター	カンボジア／人身売買・児童労働防止のための啓発ネットワーク	¥600,000
計		¥3,000,000

平和念仏募金を原資としたNGO支援は、ネパール、パレスティナ、バングラデシュなどで活躍する日本のNGOへ助成され、有効に活用されております（詳しくは表参照）。規定として、一事業5年という期間を設け、NGOの事業にも自立を促すような構造になっております。

平成26年度 浄土宗平和協会事業計画

平成26年4月～平成27年3月

平成26年	日	内容	時間	会場
4月16日（水）	第1回理事会		13:30～	東京宗務庁
5月9日（金）	監査会		13:30～	京都宗務庁
5月20日（火）	平成26年度総会		14:00～	東京宗務庁
	第6回浄土宗平和賞贈呈式・NGO活動紹介		15:00～	
5月26日（月）	共生子ども連絡会議		13:00～	京都宗務庁
6月	平成26年度会費請求、会員募集			
7月	ブック・ギフト 応募要項配布			
	会報ダーナVOL.24（年次報告書）発行			
	第1回正副理事長会議			
9月	ブック・ギフト 応募者受付開始			
9月1日（月）～9日（火）	第8回スタディツアー			
11月	第7回浄土宗平和賞募集			
11月30日（日）	第7回ブック・ギフト in Tokyo 授与式		15:00～	大本山増上寺
12月7日（日）	第4回ブック・ギフト in Kansai 授与式		14:00～	大本山知恩寺
12月21日（日）	第2回ブック・ギフト in Nagoya 授与式		14:00～	建中寺
12月	第2回理事会			東京宗務庁
	平成27年度予算折衝			京都宗務庁
	会報ダーナVOL.25発行、平和念仏募金のお願い			
平成27年	日	内容	時間	会場
1月	第7回浄土宗平和賞募集 締め切り			
3月	第2回正副理事長会議			東京宗務庁
東京事務局会	随時			
緊急募金	随時			

平成26年度 浄土宗平和協会収支予算

（自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日）

■収入の部

款	項	26年予算額	25年予算額
(1) 会費		5,100,000	4,700,000
	①正会員会費	5,000,000	4,600,000
	②賛助会員会費	100,000	100,000
(2) 寄付金		2,200,000	2,100,000
	①平和念仏募金	2,100,000	2,000,000
	②緊急募金	100,000	100,000
(3) 助成金		2,050,000	1,750,000
	①浄土宗助成金	2,050,000	1,750,000
(4) 雑収入		30,000	10,940
	①雑収入	30,000	10,940
(5) 繰入金		1,275,817	1,479,883
	①前年度繰入金	275,817	779,883
	②基金繰入金	1,000,000	700,000
収入合計		10,655,817	10,040,823

■支出の部

款	項	26年予算額	25年予算額
(1) 事業費		7,630,000	7,030,000
	① NGO 団体支援金	3,000,000	3,000,000
	②緊急救援資金	100,000	100,000
	③ブック・ギフト費	1,200,000	800,000
	④平和大会等関連費	550,000	550,000
	⑤会報費	2,300,000	2,300,000
	⑥啓発・普及費	10,000	10,000
	⑦スタディツアー関連費	210,000	10,000
	⑧支部事業助成費	200,000	200,000
	⑨各種団体連帯費	30,000	30,000
	⑩調査研究連帯費	30,000	30,000
(2) 会議費		1,060,000	1,189,000
	①総会費	100,000	150,000
	②理事会費	600,000	600,000
	③正副理事長会費	100,000	179,000
	④事務局会費	260,000	260,000
(3) 事務費		1,010,000	1,010,000
	①事務費	1,000,000	1,000,000
	②旅費	10,000	10,000
(4) 繰出金		700,000	700,000
	①基金繰出	700,000	700,000
(5) 予備費		255,817	111,823
	①予備費	255,817	111,823
支出合計		10,655,817	10,040,823

平和基金	26年予算額	25年予算額
平和基金		17,741,254

浄土宗平和協会は平成26年9月1日(月)から9日(火)まで8泊9日の日程で、アメリカ・ニューヨークの同時多発テロで標的となったワールド・トレードセンター跡地グラウンド・ゼロで平和の祈りを捧げ、米国屈指の大学ハーバード大学(ボストン)、カルフォルニア大学で仏教の講義(ハーバード大=ヘレン・ハイデッガー教授、カルフォルニア大Z=マーク・プラム教授、いずれも日本語)を聴くスタディーツアーを実施します。旅程はほかに天台宗ニューヨーク別院、NYビレッジ禅堂、カリフォルニア米国国際仏教大学院を訪れるほか、ニューヨークまたはボストンでアメリカ大リーグの観戦ツアー(オプション)、ショッピングも十分に楽しめるスケジュールになっています。申込み締め切りは7月22日(火)必着です。



ニューヨーク・グラウンドゼロ

詳しくは、同封のパンフレットを参照してください。申込は同封の申込書に記入の上、BS観光アショカツアーズまで。浄平協のツアーは毎回、定員オーバーでお断りする可能性があります。参加希望の方は、電話で仮予約を取ることも可能です。仮申込より7月31日(木)まではキャンセル料はかかりません。浄平協会員は5%引きとなります。

- 旅行期間:平成26年9月1日(月)～9日(火) 8泊9日
- 旅行代金:398,000円(浄平協会員)、418,000円(一般参加)
- 申込締切:平成26年7月22日(火) 必着
- 参加人数:30人

【問い合わせ】BS観光アショカツアーズ / Tel: 06-6444-2225 (担当: 道家、川田)

日にち	発着都市	現地時間	交通機関	摘要
9月1日(月)	成田空港 発 ニューヨーク 着	16:55 16:50	UA-078	成田空港→[ユナイテッド航空] ニューヨーク日付変更線..... 着後、ホテルへ 【ニューヨーク:マリオット・マーキス泊予定】
9月2日(火)	ニューヨーク	終日		終日、ニューヨークにて研修 [天台宗ニューヨーク別院、禅道場・教会視察など] 【ニューヨーク:マリオット・マーキス泊予定】
9月3日(水)	ニューヨーク	終日		午前、ニューヨークにて研修 [グラウンド・ゼロ、トリニティ・チャーチ、ウォール・ストリート] 午後、自由行動 【ニューヨーク:マリオット・マーキス泊予定】
9月4日(木)	ニューヨーク 発 ボストン 着	15:45 17:00	UA1116	午前、自由行動 《オプションツアー》=メトロポリタン半日観光(9:30~12:00) ニューヨーク→[ユナイテッド航空] ボストン 着後、ホテルへ 【ボストン:コプリイ・マリオット泊予定】
9月5日(金)	ボストン	終日		終日、ボストンにて研修 [ハーバード大学にてヘレン・ハイデッガー氏による講演予定、歴史地区車窓観光] 【ボストン:コプリイ・マリオット泊予定】
9月6日(土)	ボストン 発 サンフランシスコ 着	11:15 14:38	UA-477	ボストン→[ユナイテッド航空] サンフランシスコ 着後、自由行動 【サンフランシスコ:ヒルトン・ユニオンスクエア泊予定】
9月7日(日)	サンフランシスコ	終日		終日、サンフランシスコにて研修 [カリフォルニア大学バークレー校にてマーク・プラム氏による講演予定、米国国際仏教大学院(BS)、教会にてミサに参加予定] 【サンフランシスコ:ヒルトン・ユニオンスクエア泊予定】
9月8日(月)	サンフランシスコ 発	11:15	UA-837	サンフランシスコ→[ユナイテッド航空] 成田空港 【機中泊】日付変更線.....
9月9日(火)	成田空港 着	14:10		



O P I C S

共生こども連絡会議で
今年もポスターを

浄平協ほか、浄土宗保育協会、浄土宗児童教化連盟、浄土宗スカウト連盟で作る「共生こども会議」は、5月26日京都宗務庁で会議を開き、引き続き、連合ポスターを作ることを決定しました。6月には全国の御寺院に、文化出版局制作のポスターと共に発送されます。大きさはA2版。



私

も浄平協会員

神奈川県 石川邦雄 師



今回の「私も浄平協会員」は神奈川県小田原組春光院の石川邦雄師。荻野理事長とは、少僧都養成講座から共に仏道修行に励んだ、長いおつきあいだとか。現在は、境内地で運営する春光保育園の園長として、また地元大本山光明寺・東京大本山増上寺布教師としてもご活躍されています。

私共の保育園では、月曜日、主に4、5歳児の子どもたちが本堂にお参りします。そこで園長として講話をするのですが、もつぱら金子みすゞさんの詩を子どもと一緒に口ずさむことにしています。みすゞさんの詩には、この世の真理が表現されていると考えるからです。

たとえば「星とたんぼぼ」という詩の「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ」とか、「大漁」という詩の中では「浜は祭りのようだけど 海のなかでは 何万のいわしのとむらいするだろう」など、仏教思想を感じさせるものがあります。

子どもたちには、意味を説明せずにただ詩の世界を共に楽しむことにしています。すると、からだ全体でその意味を受け止め、いつの間にか知らぬ間に、からだから心にしみ込んでいく。日々の小さな積み重ねが、子どもの人格を育てているのです。

浄土宗平和協会には、入会から2年ほどですので日は浅いですが、活動の実態を見聞きするにつけ、積み重ねの中で着実に実績を上げているのだと感じています。何よりも「平和」というテーマを真正面から受け止め、愚直に追求しようとする姿勢は感銘を受けます。

特に浄土宗平和賞には、それぞれの立場で真摯に平和を希求する活動続ける教師たちにスポットを当てられている。たいへん励みになりますし、重要なことだと思います。

今、ワールドカップの話題で持ちきりですが、日本のサポーターが賞賛されています。勝ち負けに関係なく、会場の清掃をして帰る。グラウンドで活躍する選手も、サポーターあつての日本代表なのかもしれません。

浄平協も、会員教師の一人一人とその周囲のサポーターが会を支えているのだといつまでも忘れずにいたいものです。

浄土宗平和協会（JPA）



会員募集

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。



浜〇かふえの活動より

[入会要項] 浄土宗平和協会（JPA）の活動にあなたも参加しませんか？

正会員

対象……浄土宗教師・寺族
会費……年間10,000円

賛助会員

対象……檀信徒、企業や宗教法人以外の団体
会費……檀信徒会員 年間 2,000円
法人会員 年間 10,000円（一口）

正会員は、入会時に「私たちは平和を祈念します」と記された会員プレートを贈呈します。賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダナーに芳名を掲載します。正会員、賛助会員は、スタディーツアーに割引料金で参加できます。



平和念仏募金のご協力をお願い

平和念仏募金は、各NGO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、社会参加するお寺を顕彰する浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

恐縮ではございますが、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ◆平和念仏募金は、浄土宗劈頭宣言にある愚者の自覚に立ち返り、「世界に共生」する平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための募金です。
- ◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する一の方針のもと、国

- 際的に活躍するNGO（非政府組織）を支援しております。
- ◆私費留学生希望図書支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生へプレゼントした書籍の購入費として役立たせていただきます。

JPA 浄土宗平和協会4つ活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 スタディーツアー・NGO支援

浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……荻野順雄	監事……塩竈義明
副理事長……小泉顕雄	村上真瑞
理事……小林正道	専門委員……戸松義晴
理事……橋田邦俊	茂田真澄
石上源應	事務局次長……服部光雅
山川正道	事務局……中野隆英
深谷雅子	杉浦靖俊
金田進徳	齋藤隆尚
東海林良雲	鍵小野和敬
泉 禮子	大島康裕
事務局長……川副春海	嘉藤哲也
	齋藤美香

ご希望の方には詳しい案内の掲載された協会のパンフレット（入会用振込用紙つき）を同封いたしておりますのでご利用ください。

浄土宗平和協会（JPA）

〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内
電話075-525-0484 Fax075-531-5105

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-12-18

電話03-3855-8781 Fax03-3855-8782 メールjpa-info@jodo.or.jp

郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】



平和、共生、みんなのために